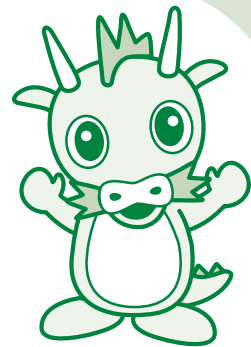


# 鐘の音

～かねのね～



vol.44  
2020.10 発行



その昔、大宮の地で見出されたという鐘の精「鐘姫」の伝説にちなみ、誰もが自分らしく生きられる社会を目指して、様々な心の声を響かせたい、という願いを込めて名づけました。

## 「新しい生活様式」と男女共同参画推進センター

令和2年度、新型コロナウイルスによって、私たちの生活は様々な変化に直面しています。「人との接触＝リスク」ということから、ほかの多くの公共施設と同じく、男女共同参画推進センターの運営は大きく影響を受けています。この状況下で、施設と各事業の趣旨・目的を再確認し、可能なこと・可能な形について、模索しながらのセンター運営状況をお知らせします。

### 施設運営は「ソーシャルディスタンス」を保ちつつ

センターの会議室利用は、人数制限をしています。また、交流コーナーは椅子を減らし、打合せや会話などのご利用はできるだけ遠慮願っています。図書については、貸出しは行っておりますのでご利用ください。また、お手に取られた本は、元の書架に戻さず返却台に入れる等のご協力をお願いいたします。

### 相談支援事業は感染リスクに配慮しつつ実施中

災害と同じく、通常的生活ペースや社会資源が使えない今、弱い立場の方が真っ先に影響を受けます。「女性の悩み相談」は、悩みを抱えた女性が必要な資源とつながる手がかりとして運営しています。電話相談が中心で、必要性が高いと判断されるものについては面談を行います。

### 学習研修事業はオンラインを取り入れつつベストな形を模索

「外出自粛」の環境で、センターの学習研修事業でもオンライン形式を取り入れ始めました。「男女共同参画週間記念事業」など、講演会形式で行っていた企画は比較的オンライン形式になじみやすく、また、足を運ばずとも、その気になれば聴けるという新しいメリットもあります。しかし、そのほかの講座事業、たとえば参加者自身が生活経験や感じることから学びあうワークショップや、共通の課題を抱えた方が集まること自体に意義があるようなプログラムも重要です。それらを、感染拡大防止と両立させながらどう実施していくかは、まだ模索中。視聴のみのオンラインコンテンツ、双方向性の会議システム、広い会場を確保して少人数でのリアル開催などが考えられますので、趣旨とニーズを再確認しながら、講師のご協力を得て、ベストな形を見出そうとしているところです。



最新情報は  
ホームページをご覧ください→



# さいたま市では、市民との協働を推進しています

## 市民活動と男女共同参画推進センター

社会の課題に、当事者や家族、地域や共感で結ばれた人たちが自ら取り組む市民活動。ジェンダー平等の課題もたくさん取り上げられています。パートナーシップさいたまでは、「市民企画講座」そして「公募型共催」の2つの事業で、アクティブな団体とつながり男女共同参画のまちづくりをすすめています。令和2年度の採択団体からのメッセージをご紹介します。

※最新情報はこちら



▲公募型共催



▲市民企画講座

### レインボーさいたまの会

(事業名:レインボー大学さいたま)

当会は、性の在り方にとらわれず、埼玉県内の誰もが認め合う社会を実現させるために取り組みを行っている任意団体です。会の名称は、埼玉県(さいたま)を彩りある多様性を尊重するカラー(レインボー)に染めていきたいという意味が込められています。埼玉県在住あるいは埼玉県にゆかりのある、様々な個性やセクシュアリティを持つメンバーで、交流会や講演会、同性等のカップルを認証する「パートナーシップ宣誓制度」の導入を県内自治体に求めています。



<https://twitter.com/rainbowsaitama> ▲

### HAGURUMA women's health support

(事業名:産後ママのためのHealth Action!!)

カラダケア専門の女性理学療法士の団体です。団体名の由来は1人1人の個性を歯車のように繋ぎ合わせ未来をつくる原動力にしたいという想いを込めています。活動内容は、ウィメンズヘルスを中心に思春期から産前産後、更年期、閉経以降等ライフイベントで変化する身体の支援活動を行っています。HAGURUMAに関わる全ての女性が笑顔で前向きでいられるようなそんなサポートをしていきたいと考えています。



<https://www.facebook.com/Haguruma-102341767825218/> ▲

### 交流ぶらすかい

(事業名:自分の暮らし方をみつめてみよう)

**活動内容:**小さな子でも高齢の方でも誰でも自分らしく暮らしていく場の提供活動《カフェ会》や《地域の方々が講師になり交流をする大人ときめきカフェ》《終活カフェ》《アコースティックギター演奏ライブ企画》、地域の方々の作品を飾る場の提供活動等

**目指すこと:**安心してゆっくり暮らしていける環境づくり

**グループ名の由来:**わくわくする穏やかな交流がぶらすかされていくようにという希望を込めて

**メンバーの顔ぶれ:**30代から70代《様々な人と知り合いながら暮らしを楽しみたい》と情報交換が活発におこなわれているメンバーです



<https://www.facebook.com/20121120kouryuupurasukai/> ▲

### さいたま市女性学研究会(ゆい)

(事業名:1.ワークショップ「ブックトーク」2.図書情報誌「ゆい」作成)

パートナーシップさいたま等の講座で学んだ後、さらに学び続けるために生まれた会である。2014年からは、年2~3回1冊の本を取り上げて話し合う「ブックトーク」を行っている。話を聴く人それぞれが共感したり、意見反論もする楽しい一時である。今年度「パートナーシップさいたま図書情報紙」の編集を担当する。会の愛称「ゆい」を名称にした。年2回発行。どうぞよろしく。



<https://www.city.saitama.jp/006/010/002/001/index.html> ▲

## からふるプロジェクト

(事業名:からふる×ダイバーシティつながる参加型レクチャーコンサート)

音楽には、洋楽・クラシック・J-popなどジャンルは様々ありますが、音楽を楽しむのに、ジャンルも年齢も障がいも関係はありません。音楽の好きな人が集まって、それぞれに寄り添いながら、一緒に楽しむ。団体名の「からふる」にはそんな想いを込めました。

これからも、人との繋がりを大切に、楽しいイベントを開催していきたいと考えています。



<https://www.facebook.com/colorfulPJ/> ▲

## まんなかタイムス

(事業名:まんなかラボ)



「人生100年時代」を生きるぱっとしない中年のいまと未来を考えるウェブマガジン「まんなかタイムス」を発行しています。メンバーは40代50代＝「人生100年時代」のまんなかです。「最終コーナー」だと思っていたらまだ半分、あと

半分どう生きるかを戸惑う私たち。「できる男」や「美魔女」なんてものにならなくてもいいから、家族や地域、そして社会の中で、自分自身の本当に大切なものを大切にできるように「これから」を組み立てる目と心を養うコミュニティです。



<https://s-ce.shigoto.bz/> ▲

## 蒼い空の会

(事業名:あおいそら こころのケア講座)



虐待、DV、職場のハラスメントなどで、心に傷つきを抱えた女性のためのセルフケア講座を開始しているグループです。保健師2人、婦人相談員1人、講座ファシリテーター1人の女性4人組です。自分らしく生きるために必要な12のテーマ(DVの構造、トラウマとの向き合い方、自尊心など)を、毎月第2土曜日に「こころのケア講座」としてお伝え

しています。続けてでも、興味のある回のみ参加もOK。遅刻早退もありです。お気軽にご参加ください。



<https://www.facebook.com/aosoranokai/> ▲

## 子育てたんぽぽ

(事業名:話してみよう、子育て期の悩みやモヤモヤ)

昨年度、パートナーシップさいたま主催の『幼児を持つ母親のための講座』の企画をきっかけに活動を始めたグループで、メンバーは皆さいたま市在住の母親です。春に集まり、活動を始めたときに咲いていた身近な花から『たんぽぽ』と名づけました。子育て中の保護者同士が、安心して会話や交流ができる場を提供し、日頃の悩みを共有したり、軽減してもらうことを目的としています。これから少しずつ、ワークショップやトークサロン等を企画していけたらと思います。

## コラム

### 【幸せ貯金】

新型コロナウイルスによる影響が続いている昨今、あなたはどんな気持ちで過ごしていますか? 「コロナに感染したら怖い、どうしよう」、「色々規制が出来て嫌だなあ」という気持ちでしよっか。逆に、「コロナのお陰で家族の絆が深まった!」、「当たり前だと思っていたことも凄く有難いことだったんだなあ!」という気持ちでしよっか。

感じ方は人それぞれだと思いますが、私は後者の気持ちが大きいです。「明日は我が身」という言葉がありますが、誰が、いつどうなるかわからない世の中です。もちろん私も感染への不安が無いわけではありません。しかし、今日一日を悔いなく心穏やかに、幸せに生きるための大切さを今回の新型コロナウイルスの騒動で気付かされ、それから毎日、心の「幸せ貯金」をしています。今まで当たり前だと思っていた多くのことに意識を向けて、感謝したり感動したりすることです。

例えば、雨風から守ってくれる家があること、温かいご飯が食べられること、自分も家族も何事もなく普段通りの生活を過ごすことができた等。しばらくすると、自分の心の中が幸せで満たされていくのを感じます。

そうすると家族や周りの人だけでなく、自然や物にも優しく接することができるので、貯金をすると決めてから毎日がとても穏やかで楽しくなりました。さらに続けていくうちに、新型コロナウイルスの話もそうだし、例えば誰かに冷たい態度を取られても、自分の心が幸せで満たされているのであまり気にならなくなりました。

新型コロナウイルスに感染されて辛い思いをされた方やご家族や親しい方に不幸があった方もいらっしゃるの、不謹慎だと思われるかもしれませんが、そんなことできるわけないと思われりするかもしれませんが、しかし、世界規模で困窮し変化し、いつ収束するのかわからない中で、以前のような日常に戻ってほしいと嘆きながら不安や不満を抱えて過ごすのではなく、一人ひとりが些細なことでも感じ方や見方を変えて毎日楽しく幸せに過ごすことが大切なのではと感じています。

あらゆることに感謝、感動し、自分の心を幸せで満たしていく「幸せ貯金」。今日も私は誰にも知られず、せつせと貯金をしながら過ごしています。

(酒井 彩月)





## 相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

## ●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

子ども家庭総合センター 男女共同参画相談室	☎048-711-6650
月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金/10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
火・金/10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水/10:00～17:00	

## ●男性の悩み電話相談

男性の生き方、仕事、家庭、夫婦、人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室	☎048-711-6101
第2・第4火曜日/18:30～20:30(祝日は除く)	

## ●女性のDV電話相談

☎048-762-3880 月～金/10:00～17:00

## ●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第2水曜日/13:00～15:30(30分単位)
実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第1・第3火曜日/13:00～15:30(30分単位)

## ●男性のための法律相談(予約制)

弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第4水曜日/13:00～15:30(30分単位)

## ●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
第4月曜日/13:30～16:15(45分単位)

## ほっとたいむ

## 「つなぐ」

こんにちは。この春から広報誌「鐘の音(かねのね)」に「つなぐ」の縁をいただいた、編集員のむらかみたくじです。

今は心配なことが長く世の中にたまたまあって、それがうっすらと積み重なっているように感じています。

こんな時には、「つなぐ」に「何か」があることや、「誰か」がいるという感覚が救いになると感じる方も多いのではないかと思います。

私はといえば、自然のなかで過ごすことが好きで、季節の良い時にはよく山登りを楽しんでいます。実際には重いバックパックを背負うこともあり、地面ばかりを見て歩いていることが多いのですが、すると道沿いは、意外にも多くの素敵な花が咲いていることに気づきます。

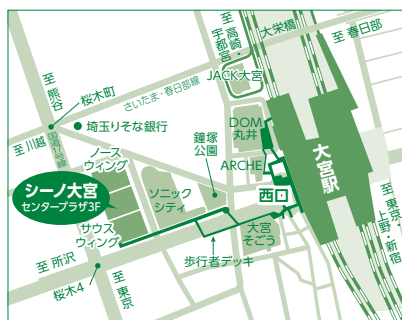
昨年訪れた信州の山では、白いうぶ毛に朝露をのせた「ウスユキソウ」、濃い紫色が印象的な「トリカブト」、桃色の淡いグラデーションの「フウロソウ」など、夏の花がいつぱんに咲きました！ といった時期で、素晴らしいタイミングだったことをおぼえています。

ところで、この天然の「お花畑」は岩場や崖の近くなど、より自然条件の厳しい場所にあることが多いのです。そこまで続く道も、しばしば風雨で崩れてしまつてしまつてあります。そのような登山道の維持整備を、「山小屋の人たちが担っていることは案外知られていないことかもしれません。美しいお花畑に行けることはもとより、道があるということ自体、山を愛する誰かのおかげでもあるのです。

今年はいくつかの山小屋がコロナ禍の影響を受けました。営業自体をあきらめた小屋も少なくありません。

そこでこの夏には、山の雑誌社などが声をあげて、山小屋支援のためのクラウドファンディングが立ち上がりました。「登山の文化を次世代につないでいきたい」という趣旨に賛同し、私も少しばかりですが支援することにしました。今度は自分が「つなぐ」番だと感じましたからです。あの素晴らしいお花畑に「つなぐ」てくれた山小屋へ、来年には再訪できることを心から願つてやみません。

(むらかみたくじ)



JR大宮駅西口 徒歩8分

自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



さいたま市

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。

郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.44 2020年10月1日

〈編集・発行〉

さいたま市男女共同参画推進センター(愛称:パートナーシップさいたま)

編集員/酒井彩月、新藤賢十郎、武田礼子、村上拓司

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ3階

電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail: danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆

パートナーシップさいたま

検索

10・3月発行(年2回)



この広報誌は42,000部作成し、1部当たりの印刷経費は10円です。